



ボーイスカウト山口県連盟主催の指導者養成講習会が一月二十一日、宗頭文化センターで開かれ、遠く田布施・光・防府・萩から九名そして町内からも四名の青年が参加し、ボーイスカウトの教育原理と指導について熱心に研修を受けました。少年活動の育成にあたる指導者不足が歎かれています折から、十三名のリーダー誕生は朗報といえましょう。



新春の劈頭を飾る恒例の三隅町消防出初式が、去る一月九日、明倫小学校グラウンドで盛大に挙行されました。今年は一月初八日の始業式を避ける意味で変更しました。好天に恵まれ、おおぜいの来賓参加者の前で三〇〇名の団員、長門消防署、中学校消防隊の意気は高揚し、最後の一斉放水では三隅川の水もなくなるほどでした。



新春を飾る恒例の第26回長門大津駅伝大会が1月20日、油谷青年の家を出発、宗頭文化センターをゴールとする6区間、三二キロメートルで一般5チーム高校4チーム、計9チームが北浦海岸沿いに健脚を競いました。三隅町は各選手とも健闘しましたが惜しくも2位でゴールインしました。

過る一月七日、町民グラウンドにて新春恒例の少年少女のサッカー大会が行なわれました。この大会には町内唯一のママさんだけで結成されているママさんサッカー(ウーマンキッカーズ)も参加して盛大に行なわれました。たくましい三隅っ子の育成を旨とする本大会、たくましい少年少女の姿が一段と発揮された一日でした。

節分



節分とは、もとは節、すなわち季節の分かれ目のことで、立春、立夏、立秋、立冬の前日がすべて節分というわけです。ただ、立春は一年の境い目ということで重くみられ、とくに立春の前日だけを節分というようになりました。新暦では、毎年二月三日か四日。今年は三日です。この日に除災のために、鬼打ちまたは豆まきと称して、イリ豆をまいて鬼を追いはらう行事が神社仏閣や家庭で行われています。今は少なくなりましたが、この時、ヒイラギの枝にイワシの頭を刺して戸口にかざる地方もあります。いま、大豆は、九七・四割が輸入で、大部分がアメリカ産。といっても、みそ、しょうゆ、とうふ、納豆など日本を代表する食べものの原料の豆がほとんどアメリカ製なので、すから、福豆がアメリカ製でも、ちっともおかしいことはないわけですが。